

種別	レベル	蔵王山 噴火警戒レベル (案)				
		火山活動の状況	レベル判定基準	主な防災対応	レベル引き下げの判定基準	過去の事例
特別警報	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある	<p><レベル5></p> <p>判定基準</p> <p>1. <噴火直後>融雪型火山泥流または御釜由来の泥流が予想される、あるいは噴火規模・位置が不明な噴火の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> 融雪型火山泥流または御釜由来の泥流などの居住地域への早期の影響を考慮(噴火後の状況確認により、レベルを維持、あるいはレベル4以下に引き下げる) <p>2. <噴火後>融雪型火山泥流または御釜由来の泥流が発生、あるいは切迫している</p> <ul style="list-style-type: none"> 火山活動により融雪型火山泥流が発生、あるいは切迫している 火山活動により御釜の湖水の溢流・火口壁の決壊などが発生、あるいは切迫している <p>警戒範囲</p> <p>融雪型火山泥流：蔵王川、濁川、澄川、松川、須川流域の一部の居住地域 御釜由来の泥流：濁川、松川流域の居住地域 大きな噴石：レベル3の警戒範囲 火砕流・火砕サージ：レベル3の警戒範囲</p>	<ul style="list-style-type: none"> レベル5の警戒範囲内の建物・道路等への立入規制 レベル5の警戒範囲への防災対応 噴気・火山ガス等への注意喚起 風下側の降灰・小さな噴石への注意喚起 	火山現象が居住地域へ影響を及ぼす可能性が低くなった場合、検討によりレベル4あるいは3に引き下げ	<p>1230年 噴火 噴石により人畜に被害多数</p> <p>1821年 噴火 鳴動、御釜の濁水沸騰、濁川増水し、硫黄堆積</p> <p>1867年 噴火 御釜沸騰、洪水で死者3名</p>
	4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)	<p><レベル4></p> <p>判定基準</p> <p>1. <噴火前>融雪型火山泥流または御釜由来の泥流などを伴う噴火が予想される</p> <ul style="list-style-type: none"> 火山活動状況や積雪状況などを検討して判定する <p>2. <噴火後>噴火後の火山活動の活発化により融雪型火山泥流または御釜由来の泥流が予想された場合の下位レベルからの引き上げ</p> <p>3. <噴火後>融雪型火山泥流または御釜由来の泥流が発生していない、あるいは切迫していない場合のレベル5からの引き下げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 融雪型火山泥流または御釜由来の泥流などが予想されるが、発生あるいは切迫していない <p>警戒範囲</p> <p>融雪型火山泥流：蔵王川、濁川、澄川、松川、須川流域の一部の居住地域 御釜由来の泥流：濁川、松川流域の居住地域 大きな噴石：レベル3の警戒範囲 火砕流・火砕サージ：レベル3の警戒範囲</p>	<ul style="list-style-type: none"> レベル4の警戒範囲内の建物・道路等への立入規制 レベル4の警戒範囲内への防災対応 噴気・火山ガス等への注意喚起 風下側の降灰・小さな噴石への注意喚起 	融雪型火山泥流または御釜由来の泥流が居住地域に影響を及ぼさないと予想された場合、検討によりレベル3あるいはレベル2に引き下げ	
警報	3 (入山規制)	火口付近から居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火の発生、あるいは発生が予想される	<p><レベル3></p> <p>判定基準</p> <p>1. <噴火前>火口周辺の広い範囲に影響を及ぼす噴火が予想される</p> <ul style="list-style-type: none"> 御釜で変色域・熱域などが拡大 規模の大きな火山性地震が増加 規模の大きな火山性微動が増加 山体の顕著な膨張を示す地殻変動を観測 <p>2. <噴火直後>融雪型火山泥流または御釜由来の泥流が予想されない噴火の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> 噴火規模や位置が噴火直後に判明し、明らかに融雪型火山泥流または御釜由来の泥流などが予想されない <p>3. <噴火後>融雪型火山泥流または御釜由来の泥流が予想されない場合の上位レベルからの引き下げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 噴火位置や活動状況により融雪型火山泥流または御釜由来の泥流が予想されない <p>警戒範囲</p> <p>大きな噴石：御釜中心から概ね3.5km以内の範囲 火砕流・火砕サージ：御釜中心から概ね2km以内および八方沢・濁川上流域の範囲</p>	<ul style="list-style-type: none"> レベル3の警戒範囲内の建物・道路等への立入規制 レベル3の警戒範囲への防災対応 特定地域(居住地域よりも早い防災対応が求められる地域)への防災対応(火砕流・火砕サージの発生が予想される場合のみ) 噴気・火山ガス等への注意喚起 風下側の降灰・小さな噴石への注意喚起 	左記基準に達しない活動が概ね1ヶ月続いた場合、検討によりレベル2に引き下げ	<p>1623年 噴火 火砕物降下、鳴動、噴石、降灰。</p> <p>1694年 噴火 河川毒水化、川魚死ぬ</p> <p>1895年 噴火 白煙、御釜沸騰</p>
	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす噴火の発生、あるいは発生が予想される	<p><レベル2></p> <p>判定基準</p> <p>1. <噴火前>火口周辺に影響を及ぼす噴火の発生が予想される</p> <ul style="list-style-type: none"> 御釜で変色域・熱域などが発生 丸山沢で噴気が活発化 火山性地震が増加 規模の大きな火山性地震が発生 規模の大きな火山性微動が発生 山体の膨張を示す地殻変動を観測 <p>2. <噴火後>火山活動の低下によるレベル3からの引き下げ</p> <p>3. <噴火後>小規模の噴火の発生が後になって確認された</p> <ul style="list-style-type: none"> 噴火が継続しておらず、小規模の噴火の痕跡が確認された <p>警戒範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 噴火位置が不明の場合 大きな噴石・火砕流・火砕サージ：馬の背カルデラの縁から概ね1.2km以内の範囲 噴火位置が火口で定まる場合 大きな噴石・火砕流・火砕サージ：火口の縁から概ね1.2km以内の範囲 	<ul style="list-style-type: none"> レベル2の警戒範囲内の建物・道路等への立入規制 レベル2の警戒範囲内への防災対応 特定地域(火口から近く、居住地域よりも早い防災対応が求められる地域)への注意喚起 噴気・火山ガス等への注意喚起 風下側の降灰・小さな噴石への注意喚起 	左記基準に達しない活動が概ね1ヶ月続いた場合、検討によりレベル1に引き下げ	<p>1923年 御釜の湖心からガス噴出</p> <p>1939年 御釜の水変色、泡立つ</p> <p>1940年 小噴火 噴気孔生成(後日噴火を確認)</p> <p>2015年 御釜周辺で火山性地震・微動の増加、傾斜変動</p>
予報	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏 火山活動の状態によって火口内で火山灰の噴出等が見られる	<p><レベル1></p> <ul style="list-style-type: none"> 御釜に特段の変化なし 馬の背カルデラ内での少量の噴気・火山ガスの発生 活動状況に変化があった場合には臨時の「火山の状況に関する解説情報」や「火山活動解説資料」を発表 	<p>火山活動の状況に応じた対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 噴気・火山ガス等に対しての一部規制 想定火口域(馬の背カルデラ)への立入規制 		

* 「レベル判定基準」「レベル引き下げの判定基準」は目安であり、観測された現象や火山噴火予知連絡会での検討結果なども踏まえ総合的に検討して判断する。

* 火山活動状況に応じて、現レベルを維持したまま警戒範囲を縮小することがある。

* 融雪型火山泥流は積雪期のみ。

蔵王山レベル遷移図(案)

